

元気なお店！最前線

ムソーアンテナショップの取り組みをご紹介します。あなたのお店の販促のヒントになれば、うれしいです。

「初夏のドリンク特集」をテーマに、売り場入口前のステージで、光食品の注目アイテム「OGジンジャーエール」「OGスポーツドリンク」「OGアップルサイダー+レモン」をPOPを添えてポリウム陳列しました。全面にケース、後ろにバラ陳列し、1缶・3缶・1ケースのバンドル販売を展開。2缶持ってレジにいらしたお客様に「3缶のほうがお得ですよ」とご案内するの、という「じゃあ、もう一缶もらうわ」ということ。お互い関西人です、ので、そのへんは阿吽の呼吸…。

とくに「OGスポーツドリンク」は、含有有機果実にほんの少しの塩をプラスというキャッチでは風味がイメージできかないと思い、レジ横で試飲販売も実施。市販品との違いをアピールしました。真夏に向けて熱中症対策ドリンクとしてブレイクしそうなこの品、7月も押ししていきます。

(ムスビガーデンより)



HOT TOPIC

2012年5月より、取扱商品の測定基準値を「検出下限値3Bq/kg未満で不検出」に下げました

【ムソーの放射性物質に関する取り組みについて】

2012年5月7日

ムソー株式会社 品質管理室・商品部

弊社では対象地域の原料または対象地域で製造しております商品は、放射性物質を測定し、「検出下限値10Bq/kg未満で不検出」であることとし、安全性の確認をしております。

今後(5月以降)の測定は、放射性物質に関するムソー基準を下記とし、取扱商品の測定基準値を下げ、『検出下限値3Bq/kg未満で不検出』であることを取り扱い基準といたします。

【対象原料】…原発事故後に対象地域で収穫(漁獲)されたもの(都道府県が特定できない場合も対象とする)

【対象地域】…18都県(愛知・静岡・長野・山梨・埼玉・神奈川・東京・群馬・新潟・千葉・茨城・栃木・福島・宮城・山形・岩手・秋田・青森)

【対象商品】…対象原料又は製造工場が、対象地域18都県である商品

【測定基準】

■最終商品が、放射性物質不検出であることを確認します。但し、対象原料毎に測定し不検出である場合は、確認できたものとします。

■測定する放射性核種は、半減期が8日と短く今後の影響が小さいと考えられることからヨウ素131を除き、セシウム134とセシウム137を対象とします。

■測定方法は、ゲルマニウム半導体検出器(精密機器)やヨウ化ナトリウムシンチレーション検出器等、精度の高い装置を使用し、検出下限値3Bq/kg以下での測定とします。ヨウ化ナトリウムシンチレーション検出器で、3Bq/kg以上の数値が検出された場合は、ゲルマニウム半導体検出器で再検査を実施し、取り扱いについて判断します。

■測定頻度は、対象原料の収穫年度や産地が切り替る際に実施します。また、製造ロット毎に変わる生鮮原料(肉類・卵・乳製品・野菜等)を使用の商品は、年3回原料を測定するか最終商品を測定することとします。

■製造工場のみ対象の商品は、最終商品又は工場内使用水を年1回測定します。使用水を測定する場合は、検出下限値を1Bq/kg以下とします。

ムソー品質管理室担当者から

昨春の福島第一原発事故以降、お得意様から毎日のように、取扱商品の原料産地、収穫時期、製造工場の所在地などのお問い合わせをいただいています。消費者様の食の安心安全を守るべく日々心を砕いておられる様子が、電話口から伝わってきます。作る人(生産者)と食べる人(消費者)を結ぶ私たちムソーの責任を改めて感じ、気を引き締めて業務に当たる毎日です。

ムソーホームページで、ムソーブランド商品およびメーカーブランド商品の放射性物質調査結果を随時更新しております。ご覧になってご不明の点があれば、ご遠慮なくお尋ねください。



Macrobiotic Facilitator



ムソー株式会社

TEL:06-6945-0511, FAX:06-6946-0307

540-0021 大阪市中央区大手通2丁目2番7号 <http://www.muso.co.jp>